

Direct-Information of Orienteering in Nippon

(公社) 日本オリエンテーリング協会 理事会・事務局便り



第 15 号 (2019 年 5 月 15 日発行)

長い連休が終わり、新緑がまぶしい季節になりました。平成から令和へと移り変わり、気分一新何かを始められた方も多いかと思います。JOA でも新しい在り方を求めるべく各ワーキンググループが始動しています。皆様のご意見を賜りたく、よろしくお願いいたします。

●本号の内容

- ・MTB-0 羽鳥選手 県知事表敬訪問
- ・O-Forum 2019 Spring 報告 (木村佳司)
- ・2018 年度全日本大会(ロング)報告
- ・2019 年度全日本大会 E クラス出場資格について
- ・運営・組織改革ワーキンググループ状況報告
- ・ノミネーションワーキンググループ状況報告
- ・2019 年度公認大会・講習会のお知らせ

●MTB-0 羽鳥選手 県知事表敬訪問報告

昨年 MTB-0 マスターズ世界選手権ミドル競技 M50 で優勝を果たした羽鳥和重さんが、5 月 9 日山西会長とともに、埼玉県知事を表敬訪問されました。

知事や職員の方などに手厚く歓迎され、祝辞と記念品の贈呈を受けました。県を挙げて自転車競技に力を入れている知事からは、競技に関する深い質問もあったようです。

●O-Forum 2019 Spring 報告 (業務執行理事：木村)

第 45 回全日本オリエンテーリング大会前日に O-Forum が行われました。参加者は少なかったですが、少人数の中、率直な意見交換が行われました。アンケート結果を見ても、参加者から概ね好評でした。

開催日：2019 年 4 月 13 日 (土)

開催場所：日光公民館 (栃木県日光市)

参加者：約 20 名

内容

- ・第 29 回ユニバーシアド冬季大会報告
- ・関西ワールドマスターズ 2021 説明
- ・JOA の最近の動き概要説明
- ・意見交換

次回 O-Forum は 2019 年 10 月 13 日夜に滋賀県で開催予定です。

●2018 年度全日本大会(ロング)報告 (副会長：村越)

2019 年度からの秋開催への移行に伴い、スキップが予定されていた 2018 年度の全日本オリエンテーリング大会 (ロング種目) は、過去 2 回のプロデューサー山川克則氏からの、日本最高の大会を途切らせることなく開催したいという熱意ある提案で、実施の運びとなりました。

大会まで 8 ヶ月強であった 2018 年 7 月の提案であったため、業務執行理事や理事会でも慎重に議論した結果、これまでもインカレ開催等実績のある日光市で、旧地図を活用した開催計画であることから、十分実施可能であるとの判断で、実施に向けて準備が進められることになりました。

この間、11 月の全日本スプリントでの運営上のトラブルなど、大会の質維持という点での JOA のガバナンスの在り方等が問題にされる事態も発生しました。そのため、本大会では競技運営の中核を

担う責任者をJ O A関係者から指名することや、開催計画を書面にして作成しスケジュール管理を行うこと、若手地図調査・運営スタッフを登用することなどの対応を重ね、680人の参加を得て無事大会を終了いたしました。さらに、多くの参加者からトレインやコース、そして大会運営全般について高い評価を頂くことができました。また、エリート権所有者の参加率が高かったことも特筆すべき成果と言えます。

競技ではシニア M21E では最近好調であった伊藤樹選手（静岡県協会）が初優勝、W21E では昨シーズンに大けがをして、久し振りの大舞台となった稲毛日菜子選手（京葉 OLC）が優勝を飾りました。またジュニア M20E で小牧弘季選手（筑波大学）、W20E では香取瑞穂選手（立教大学）が、それぞれ栄冠を手に入れました。おめでとうございます。

このような大会開催を毎年地域に限らず継続することは簡単なことではありません。参加者数が限られる日本のオリエンテーリング大会では、質維持のための経費を参加費のみでまかなうことは容易ではありません。一方で、日本のオリエンテーリング界最高峰の大会として、その質を維持することの重要性を改めて実感させてくれる大会ともなりました。

大会開催に多大な努力をいただいたYMOE 山川克則氏、メインスポンサーとして協賛頂きましたリテラメッド社、その他開催にご尽力いただいた全てのボランティアスタッフの諸氏にお礼申し上げます。

男子シニア選手権クラス

1	伊藤 樹	1:39:58
2	松下 睦生	1:42:52
3	結城 克哉	1:42:58
4	尾崎 弘和	1:44:21
5	小泉 成行	1:44:43
6	大橋 陽樹	1:46:25

女子シニア選手権クラス

1	稲毛 日菜子	1:33:13
2	盛合 美誉	1:34:46
3	増澤 すず	1:42:01
4	出田 涼子	1:42:57
5	高橋 友理奈	1:43:00
6	勝山 佳恵	1:48:49

男子ジュニア選手権クラス

1	小牧 弘季	1:02:17
2	森清 星也	1:04:45
3	金子 哲士	1:10:58

女子ジュニア選手権クラス

1	香取 瑞穂	1:08:42
2	世良 史佳	1:09:03
3	阿部 悠	1:11:42

●2019年度全日本大会 E クラス出場資格規則の改正について(競技委員長：広江)

今年度より全日本および公認大会のエリートクラスに関する規則が変更になりました。ポイントは以下の3点です。

◆ E クラスを設置するのは全日本大会のみとし、一般の公認大会では原則としてE クラスを設置しない。したがって、一般公認大会のE 権という概念はなくなる。近年広い面積のトレインが少なくなり、E クラスでないクラスにはトレインを堪能できるコースの提供が難しくなっているが、A クラスを最上位とすることにより、コースの満足度を上げることができると期待する。

◆ その年度（あるいはおおむね1年以内）の公認大会のA クラスで好成績をおさめた者が、全日本のE クラスに出場する。E クラスへの昇進および復帰が早くできるようになる。

◆ 好成績の基準は、順位からタイムに変更する。かつてはタイムで計算していたが、世界で戦うためには順位を意識すべきであるという考えから、順位を採用するようになった。ただ、大会によって参加者の数やレベルにばらつきが多いことから、比較としてはタイムの方がより公平と考えるので、かつての基準に戻すことにする。

しかしながら、規則を移行するにあたり、いくつかの不具合が明らかになっています。

今年度は全日本ロング/ミドルが秋季に連日開催となるため、前年度全日本ロングからの間隔が短いのです。そのため、E 権を取得するための公認大会が少なく、特に昨年度E 権を持っていなかった競

技者によってはE権取得の機会がほとんどなかったこととなります。さらに、規則の主旨としては想定していなかった昨年度全日本ミドルの21Aの成績が今年度全日本のE権取得につながってしまうという矛盾も生じてしまいました。

したがって、競技者の不利益が可能な限り少なくなるように、今年度に限定して全日本ロング／ミドルのE権取得要件を緩和する特例を設けることを検討しています。

近日中に特例の内容とそれによるE権取得者のリストを公表する予定です。

●運営・組織改革ワーキンググループ状況報告（副会長：村越）

変化する社会情勢やオリエンテーリング界の動きに対応したJOAの組織や運営の在り方について検討するワーキンググループのメンバー募集については前号でお知らせした通りです。各会員からの推薦に基づき、橋本八州馬氏、石澤俊崇氏、近藤康満氏にメンバーをお願いすることとなりました。

JOAからのメンバー（村越真、愛場庸雅、信原靖、事務局）を加えたメンバーで、今後会員やオリエンティアとの意見交換を交えながら、運営・組織の在り方を探り、実装していく予定です。

●ノミネーションワーキンググループ状況報告（業務執行理事：大里）

前回の理事会で承認されましたノミネーションWGを設立しました。

本来は2021年6月に向けてのWGでしたが、2019年6月に対して何もトライアルをしないのはもったいないとのご意見をいただき、「この短期間でも出来そうなこと（今よりまし）」＝「説明責任を果たす」にフォーカスして計画を立てましたのでご報告いたします。

◆メンバーを楠見/信原（ブロック理事）・瀬川/大里（学識理事）4人で立ち上げました。公募しましたが**今日現在希望者はいません**。2019年6月の総会以降、こちらから1～2名お声がけしてメンバーを増やす予定です。

◆2021年6月改正のために2018年6月に向けて何かしらのトライアルを行いたいと思います。この短い期間で現実的にできそうなことは下記です。

○総会で新理事をご承認いただく際の、説明責任を果たす。

具体的にはブロック理事候補・学識理事候補ともに簡単なプロフィール・意気込み（400字程度）・推薦者2名（会員または現/元理事の推薦文200字程度）を提出する

○学識理事候補において、ダイバーシティの観点から若手と女性の理事が増やせないか、WGグループで候補を作り声かけをする（具体的な候補はまだ決まっていない）

○理事へのコミット事項をまとめ（下記）誓約してもらう

a. オリエンテーリングの普及及び振興を図り、もってアウトドアスポーツの健全な発展に貢献するとともに、国民の心身の健全な発達に寄与することを目的とする。（定款より）

b. 年間3～4回の理事会出席率50%以上

c. 理事MLへの参加（多い時は年間1000件程度）

◆今後のステップ

・ブロック理事について

事務局から各ブロックに新理事が誰か確認し、上記資料の提出を依頼する。

・学識理事について

事務局から現理事に対して、継続の意思確認。YESの方には上記資料を依頼。

学識理事定員数（10名）との兼ね合いで、若手と女性の候補を検討

・5/25の理事会にて候補を提出。

ご意見がございましたらお知らせください。2019年6月への反映が難しかったとしても、

2021年6月に向けては検討します。

●今後の公認大会・講習会のお知らせ

- 5月26日 第2回つるまい OLC トレイルオリエンテーリング大会 (愛知県)
- 6月1日 東大 OLC 前日大会兼上尾 OLC 大会 in 本庄 (埼玉県)
- 8月27日 第3回アジアジュニア・ユースオリエンテーリング選手権大会(国際イベント) (山梨県)
- 9月14日 2019年度クラブカップ7人リレー前日大会スプリント大会兼山スペ (岐阜県)
- 10月13日 全日本オリエンテーリング大会 (ミドルディスタンス競技) (滋賀県)
- 10月14日 全日本オリエンテーリング大会 (ロングディスタンス競技) (滋賀県)
- 11月16日 全日本オリエンテーリング大会 (スプリントディスタンス競技) (福島県)
- 12月8日 全日本オリエンテーリング大会 (リレー競技) (茨城県)